

豊かな教育を子どもたちに

I 研究内容

1 研究内容の具体的内容と方法

(1) 甲州支会と山梨支会に別れ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会…「予算分析と分析グラフ」「要望書のとりまとめ」「職員会議提案資料の検討」について研究。

イ 山梨支会…「決算、当初予算の分析」「備品管理のパソコン処理」「予算要求」「事務担当者会との連携」についての研究

(2) 東山梨教育環境白書の作成に協力するため「教育財政の実態」「教育環境の実態」についての調査。

II 成果と課題

1 成果

(1) 甲州支会

予算分析については、分析表・試算表に加え、グラフ化することで、よりわかりやすく問題点を洗い出す事ができた。また、調査を継続することで、過去のデータとの比較による現状の把握がしやすくなっている。

予算要求に当たっては、要望書をとりまとめ、提言することができた。要望書の資料には、分析結果も生かされていて良かった。

予算要求の職員会議提案資料の見直しを行い、要求に対しての考え方や提案における留意点などに、共通理解が図れた。また、見直すことで各校の提案の工夫など意見交換ができた。

市教委ヒアリングの後で、全体の情報交換ができて反省点や共通理解がもてたのは良かった。他校の様子も聞けて、次回への取り組みに繋がるものがあった。

全体として研究も大事だが、情報を交換し共有化することは有益であった。

(2) 山梨支会

継続的に行ってきた当初配当予算の分析に加え、今年度より前年度決算の詳細についても集約したことで、各校毎、限られた予算を効果的に執行している様子が明らかになった。

市教委によるヒアリングの後、当日のまとめを集約して、学校間で情報交換を行うことができ、問題点を洗い出した。小学校、中学校それぞれがもつ課題と厳しい予算状況が浮き彫りにすることができた。

備品管理では、備品データの移行処理を進めており、今年度末までの完了を目指している。

また、今年も視察研修を行い、押原小を訪問して違う環境におかれた小学校を見学することができた。整った教育環境設備、情報管理について説明を受け、先進校の様子を学んだ。

2 課題

(1) 甲州支会

予算分析をどのように予算要求に生かしたか、検証や反省を集約する必要があった。試算表やグラフについても読み取れるものをもう少し検討する必要がある。

要望書については、校長会へ提出したのが、校長会から市教委へ要望書を提出した後となってしまった。(事務提出の要望書の内容を、校長会提出の要望書へ含めてもらいたかった)

また、要望書(校長会・市教委・義務振 等)が共通した内容なので集約をする必要がある。

予算要求についての職員会議提案資料は、わかりやすく細かく書いた提案資料なので、参考になる反面、時間的な問題もあり、職員に説明するのに工夫が必要となっている。それぞれ学校の状況もあるが、その点を検討したい。

(2) 山梨支会

今後も予算分析調査は継続して行っていきたい。予算については、執行内容について各校の情報交換を行っていく必要がある。また、山梨市で行っているエコ対策事業について、それぞれの学校でどのような実践・工夫を行っていて、成果はどうか情報の共有化を図る。情報交換については「山梨市事務担当者会議」など他の組織も含めて積極的に行ってきたい。

(3) 全体として

来年度も同一会場での支会ごとの分散会形式をとり、折々に情報交換を行っていきたい。

III 成果物

1 甲州支会

予算分析表

試算表

分析グラフ

職員会議提案資料

2 山梨支会

配当予算決算分析表

文書分類(一部追記)

備品台帳デジタル化

予算ヒアリングの定着

市事務担当者会との連携